

河北潟産のすいかをもっと売りたい

県央農林総合事務所

河北潟干拓地は、石川県産すいかの10%強が生産される県内有数の産地です。しかし、すいか農家の方々は、干拓地の生産振興と産地活性化につなげるため、自分たちが作ったすいかをPRし、もっと売りたいと考えています。

このため当事務所では、すいか農家の後継者7名に呼びかけて、平成20年に「河北潟すいか売り隊」を結成し、すいか畑周辺での直売、地元行事への参加、親子収穫体験、周辺小学校の農作業体験など、河北潟産すいかのPR活動を続けています。昨年からは、県外でも売り上げが伸びるよう、主要な出荷先である京阪神にも赴き、PR活動を行っています。

活動5年目の本年も、神戸市場の仲買人を通じ、神戸市中心街にある幼稚園において、すいかに関する食育活動と合わせて産地PRを行うことにしました。開催時期は7月上旬。産地にとってはすいかの出荷始めの大事な時期と重なりましたが、何より子供たちに楽しんでもらえるよう、隊のメンバー各自で内容を熟考し、全員が大いに張り切って夜遅くまで掛かって準備しました。当日は「すいかづくし」。すいか紙芝居、すいかクイズ、試食に加え、園児たち60数名全員に手作りのすいか団扇を配り、園児の笑顔がたくさん見られました。

河北潟すいか売り隊は、今後も県内外を問わず、いろいろな機会を捉えてPR活動を行いたいと考えており、当事務所も引き続き、企画について助言・指導、マスコミへの情報提供、関係団体との打合せなど、河北潟すいか産地の活性化を支援していきます。



紙芝居「すいかができるまで」



「真っ赤なすいか」早く食べたいな

問い合わせ先：県央農林総合事務所 津幡農林事務所
(076-289-4158)